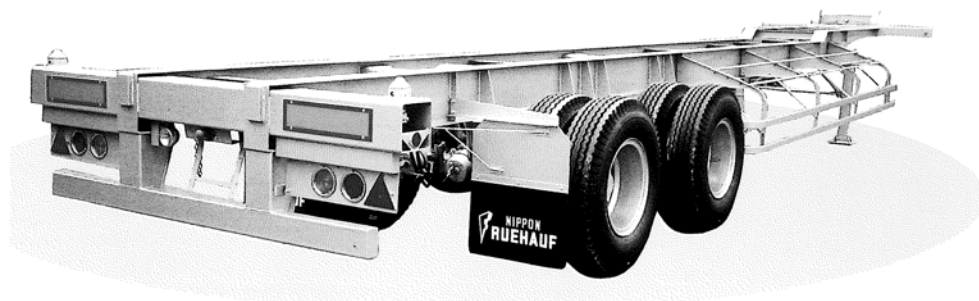
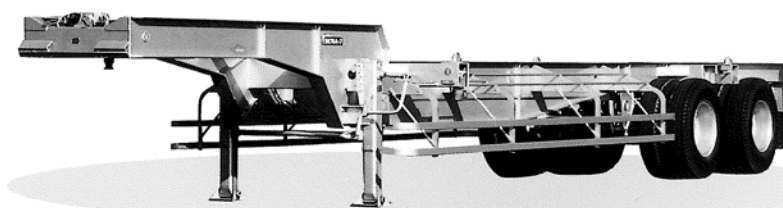


# コンテナシャシトレーラ解体マニュアル



2008年 5 月

**日本フルーフ株式会社**

管理番号:9790-073

# 目次

1. まえがき	2
2. 作業場の注意	2
3. 主要品目名及び解体手順	3～4
4. 分別	4

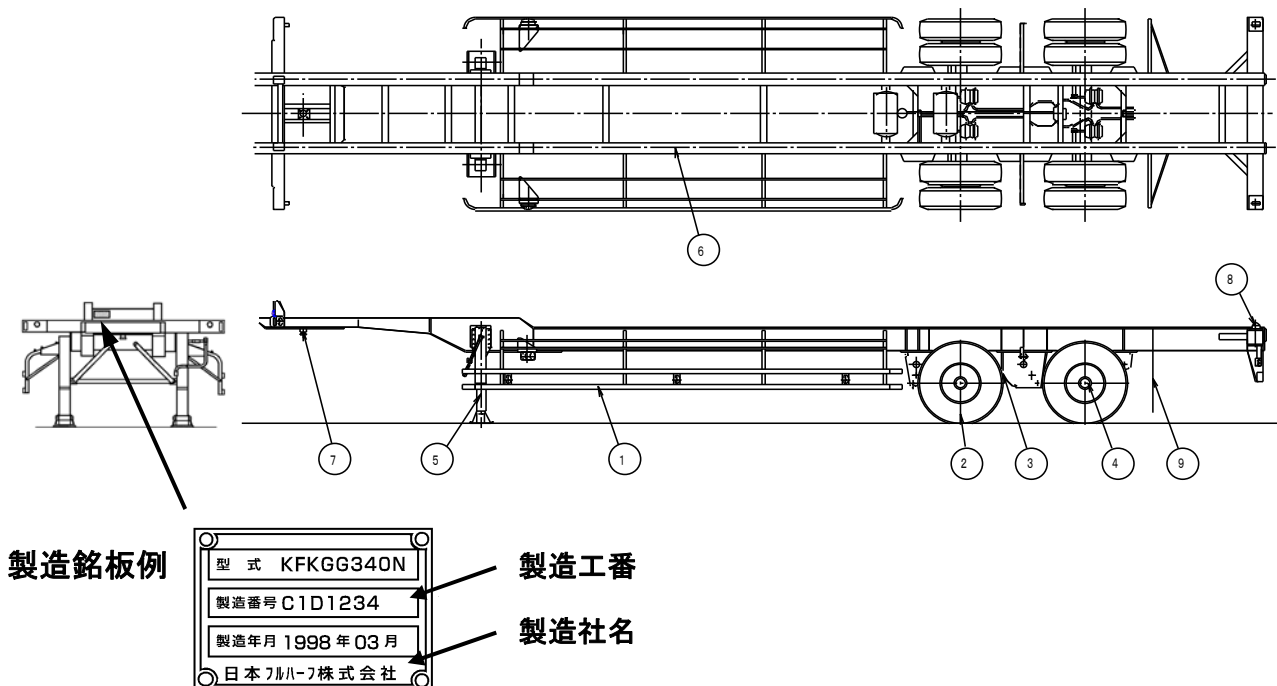
## 1. まえがき

- 1-1. 本解体マニュアルは、日本フルハーフ(株)製コンテナシャシトレーラの解体に関して、『適正で効率的な作業』や『責任ある使用済み加装物処理方法』を案内し、使用済み加装物処理の各段階で適正且つ安全に処理するための手順をまとめました。
- 1-2. 本解体マニュアルに記載の内容は、予告なく改訂することがありますので予めご了承下さい。

## 2. 作業上の注意

- 2-1. 安全な作業を行うに当たって、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用し、作業内容に応じて保護メガネ、耳栓、防塵マスク等の保護具を着用して下さい。
- 2-2. 高所作業については、安全帯、足場の確保等転落防止処置を講じて行って下さい。
- 2-3. 燃料系の除去・回収に当たっては消防法を遵守し、引火・爆発が発生しない様な環境及び方法で行って下さい。
- 2-4. 油脂・液材系の除去・回収に当たっては、地下浸透や設備外流出が発生しない様な環境及び方法で行って下さい。
- 2-5. タンク等の解体時は有害物質等の除去・洗浄を行い、安全を確保した上で作業して下さい。
- 2-6. 上記注意事項以外に、下記の法律を遵守する様お願いします。
  - ・廃棄物処理法 ・労働安全衛生法 ・大気汚染防止法 ・水質汚濁防止法
  - ・騒音規制法 ・毒劇法 ・消防法 等
- 2-7. 使用済み加装物に含まれる作動油等の有害物質及び埋立てが禁止されている蛍光管等の部品、材料、並びにそれらを含む部品を粉碎処理する前工程で選別し、適正に保管、処分を行って下さい。
- 2-8. FRP、断熱材、木材の解体処理については、専門処理業者に委託し適正に処理を行って下さい。

### 3. 主要品目名及び解体手順



番号	品目名	解体手順	鉄以外の材質	注意事項
	事前処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リヤコンビネーションランプ、ライセンスプレート等の灯火器類及び電気配線を取り外して下さい。</li> <li>・トレーラ専用部品(エア・カップリング、リレーエマージェンシバルブ・エアタンク等)を取り外して下さい。</li> </ul>	ブレーキ配管 (ナイロンチューブ) 配線 配管バンド	
1.	巻込防止装置	巻込防止装置を固定しているボルトを取り外し、本体とステーを取り外して下さい。		
2.	走行装置	タイヤを取り外し、走行装置を車体から取り外し、台車等を使用して安全な場所へ移動して下さい。	タイヤ	走行装置重量は約600kgある為、ジャッキ等を使用して下さい。
3.	緩衝装置	<p>走行装置に固定されている緩衝装置を取り外して下さい。</p> <p>取外し手順は整備要領書を参照して下さい。</p>		

番号	品目名	解体方法	鉄以外の材質	注意事項
4.	制動装置	車軸に装置されているドラムを外し、ブレーキシューASS'Yを取り外して下さい。  グリースも取り除いて下さい。  ブレーキチャンバを取り外し、チャンバを分解し、ダイヤフラムを取り外して下さい。  分解手順は整備要領書を参照して下さい。	ブレーキシュー グリース  ダイヤフラム(ブレーキチャンバ内容部品)	ドラム重量は約80kgある為、台車等を使用して下さい。
5.	補助脚	車体から補助脚を取り外して下さい。 補助脚内部のグリースを取り除いて下さい。	グリース	補助脚重量は約100kgある為、台車等を使用して下さい。
6.	シャシ フレーム	各品目名は鉄製のため、適当な大きさに溶断して下さい。		
7.	連結装置	連結装置にはグリースが塗布されている部位がありますので、グリースを取り除いて溶断して下さい。	グリース	
8.	緊締装置			
9.	泥よけ	泥よけ固定ボルトを外し、泥よけを取り外して下さい。	樹脂(EVA)	

## 4. 分別

- 4-1. 分解した部材は鉄、アルミ、ステンレス、樹脂、ゴム類、ワイヤハーネス、プラスチック、木材等、材質別に分別し適正な処理をお願いします。

2008年 5月作成  
コンテナシャシトレーラ解体マニュアル

問い合わせ先  
日本フルハーフ株式会社  
サービス部  
TEL 046-285-2116  
FAX 046-285-5662